

# 後継者の選定・育成

後継者候補を選定し、早い段階で後継者の意志を確認してください。

また、あなたと後継者が共同して農業経営をさらに発展させる未来を想像して、

後継者と一緒に育成計画を書いてみましょう。

## 後継者の選定と育成

**選定** 後継者の名前は \_\_\_\_\_ です。

年齢は \_\_\_\_\_ 才で、経営継承時には \_\_\_\_\_ 才になります。

現在は \_\_\_\_\_ をしています。

後継者候補と、継承について合意  しています  していません

私の家族は、後継者候補について同意  しています  していません

後継者候補の家族は、継承について同意  しています  していません

後継者の夢は \_\_\_\_\_ です。

後継者の得意なことは \_\_\_\_\_ です。

後継者の苦手なことは \_\_\_\_\_ です。

後継者がやりたいことは \_\_\_\_\_ です。

生産技術を身に付けていますか  はい  いいえ

資金繰り等経営管理に明るいですか  はい  いいえ

周囲との人間関係ができていますか  はい  いいえ

経営者として営農する意欲がありますか  はい  いいえ

後継者の夢を実現するため、得意なことを活かし苦手を克服できるように、次の教育・研修を行っていきます。

# 経営継承計画の策定

経営継承を着実に進めていくため、経営継承計画を策定します。

具体的には以下の手順で進めます。

- 中期的な事業計画を考える
- 中期的な事業計画に経営継承に関する内容を加える

まずは、あなたの農業経営について、  
日頃考えていることを、以下の空欄に書いて整理しましょう。

私と後継者は、この経営を発展させるため中期的な事業計画を作成します。

その方向性は

数字で表すと

経営規模（面積、頭数）は、現在  、5年後

売上高（収入）は、現在  、5年後

経常利益（所得）は、現在  、5年後

従業員数は、現在  、5年後

となるように目標達成のために以下に取組みます。

ここまでくれば、あと少しです。

これまでのステップで整理、検討したことを経営継承計画書に落とし込みましょう。